

みつかる。つながる。よくなっていく。

毎月10日発行 第821号（通巻1325号）



東京YMCA

4

2025

東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体の全人的成長を願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。

総主事交代 第15代総主事に星野太郎氏



▲代々の総主事の名が記されている聖書を、新総主事に引き継ぎました
(左から) 菅谷淳前総主事、古賀博牧師、星野太郎新総主事



◀125人が出席し、厳粛な中にも温かみのある式が行われました



ミニコンサートで演奏する飯靖子氏(左)と高等学院トーンチャイム部

総主事就退任式説教 「ひび割れた世界のなかで」

日本キリスト教団早稲田教会 古賀 博 牧師

聖書の箇所より「神は多種多様な人々を必要としている」というメッセージを受け、私たちの生き方や関りに生かしていくたいと思います。

星野新総主事のお父様である星野正興牧師の著書『風に吹かれて散らされて』に、白一色のエルサレムの教会に対しアンティオキアの教会はパッチワークだと記されています。パッチワークは、素材や形、色の異なる端切れを縫ってつなぎあわせ、個々の違いを生かして美しい布を作り出すもの。教会も同様で、人間の苦悩や喜びなどが集まり、キリストという糸でつながれて、予期せぬ素晴らしい模様ができるのです。

「縫の糸はあなた 横の糸は私 織りなす布は いつか誰かを暖めうるかもしれない／いつか誰かの傷をかばうかもしれない」は、中島みゆきさんの名曲『糸』の歌

詞です。縫糸は、決して切れてはならない糸です。星野新総主事が東京YMCAの軸と考えるキリスト教を縫糸、東京YMCAで共に活動する者を横糸として織りなす布が、いつか誰かを暖め、傷をかばうことができるよう願います。

『編むことは力～ひび割れた世界のなかで、私たちの生をつなぎあわせる～』という本の帯に「糸と針と勇気があれば、何度も編み直せる。セーターも人生も、分断されたこの社会も」とあります。戦争で人命が奪われている、このひどくひび割れた世界に必要なのは、結びあわせること、つなぎあわせることではないでしょうか。

多様な人々と痛みや苦しみを分かち合い、支えながら生きるYMCAの活動を、星野新総主事と共に進めていきたいと願っています。(まとめ・広報室)

退任挨拶

菅谷 淳

1日付で星野太郎(ほしのぶおと)氏が第15代総主事に就任しました。ト教団靈南坂教会にて「総主事就退任式」を開催。125人の出席者が見守る中で「聖書引継」を行い、誓約が交わされました。司式は日本キリスト教団早稲田教会・東京YMCA評議員会会長である古賀博牧師で、「ひび割れた世界のなかで」と題した説教をいただきました。

靖子氏が、司会は本会理

事の榎原正人氏が務め、

日本YMCA同盟総主事

・田口努氏とぐんまYMCA理事・深町穰氏より

職員としての道を歩み始

めました。

その後、どちらYMC

度に19年ぶりの黒字化を

達成。本部移転や大規模

改修工事を実施しまし

た。現在も厳しい状況は

続きますが、新しい世代

のリーダーがしっかりと

舵を取っています。

何より感謝を伝えたい

のは妻です。私の都合で

転勤を重ねましたが、一

度も文句を言わず、行く

先々でYMCAとワイヤ

メンズクラブの活動を楽

しく受け止め、YMCAに

連なる皆さんと共に力強

めました。

その後、どちらYMC

度に19年ぶりの黒字化を

達成。本部移転や大規模

改修工事を実施しまし

た。現在も厳しい状況は

続きますが、新しい世代

のリーダーがしっかりと

舵を取っています。

何より感謝を伝えたい

のは妻です。私の都合で

転勤を重ねましたが、一

度も文句を言わず、行く

先々でYMCAとワイヤ

メンズクラブの活動を楽

しく受け止め、YMCAに

連なる皆さんと共に力強

めました。

その後、どちらYMC

度に19年ぶりの黒字化を

達成。本部移転や大規模

改修工事を実施しまし

た。現在も厳しい状況は

続きますが、新しい世代

のリーダーがしっかりと

舵を取っています。

何より感謝を伝えたい

のは妻です。私の都合で

転勤を重ねましたが、一

度も文句を言わず、行く

先々でYMCAとワイヤ

メンズクラブの活動を楽

しく受け止め、YMCAに

連なる皆さんと共に力強

めました。

その後、どちらYMC

度に19年ぶりの黒字化を

達成。本部移転や大規模

改修工事を実施しまし

た。現在も厳しい状況は

続きますが、新しい世代

のリーダーがしっかりと

舵を取っています。

何より感謝を伝えたい

のは妻です。私の都合で

転勤を重ねましたが、一

度も文句を言わず、行く

先々でYMCAとワイヤ

メンズクラブの活動を楽

しく受け止め、YMCAに

連なる皆さんと共に力強

めました。

その後、どちらYMC

度に19年ぶりの黒字化を

達成。本部移転や大規模

改修工事を実施しまし

た。現在も厳しい状況は

続きますが、新しい世代

のリーダーがしっかりと

舵を取っています。

何より感謝を伝えたい

のは妻です。私の都合で

転勤を重ねましたが、一

度も文句を言わず、行く

先々でYMCAとワイヤ

メンズクラブの活動を楽

しく受け止め、YMCAに

連なる皆さんと共に力強

めました。

その後、どちらYMC

度に19年ぶりの黒字化を

達成。本部移転や大規模

改修工事を実施しまし

た。現在も厳しい状況は

続きますが、新しい世代

のリーダーがしっかりと

舵を取っています。

何より感謝を伝えたい

のは妻です。私の都合で

転勤を重ねましたが、一

度も文句を言わず、行く

先々でYMCAとワイヤ

メンズクラブの活動を楽

しく受け止め、YMCAに

連なる皆さんと共に力強

めました。

その後、どちらYMC

度に19年ぶりの黒字化を

達成。本部移転や大規模

改修工事を実施しまし

た。現在も厳しい状況は

続きますが、新しい世代

のリーダーがしっかりと

舵を取っています。

何より感謝を伝えたい

のは妻です。私の都合で

転勤を重ねましたが、一

度も文句を言わず、行く

先々でYMCAとワイヤ

メンズクラブの活動を楽

しく受け止め、YMCAに

連なる皆さんと共に力強

めました。

その後、どちらYMC

度に19年ぶりの黒字化を

達成。本部移転や大規模

改修工事を実施しまし

た。現在も厳しい状況は

続きますが、新しい世代

のリーダーがしっかりと

舵を取っています。

何より感謝を伝えたい

のは妻です。私の都合で

転勤を重ねましたが、一

度も文句を言わず、行く

先々でYMCAとワイヤ

メンズクラブの活動を楽

しく受け止め、YMCAに

連なる皆さんと共に力強

めました。

その後、どちらYMC

度に19年ぶりの

教育・保育事業部

フィラデルフィアYMCA視察研修を実施

2月3日～8日、保育事業に関する東京YMCAのスタッフ5人と横浜YMCAのスタッフ3人が、研修としてフィラデルフィアYMCAを訪問しました。この研修の目的の一つは「日本との共通点や違いを知り、それを日々の保育実践の豊かさや深さに結びつける」ことです。そのため、フィラデルフィアYMCAが運営する3つの保育施設と2つのブランチを観察しました。特に興味深かったのは、就学前カリキュラムは、就学後から組み込まれた「ソーシャルスキル」と関わる際には、子どもたちが描いてくれた歓迎の絵を持って、フィラデルフィアYMCAのスタッフと、最前列右から松本数実さん（国際・総合教育事業部統括）、中谷綾さん（キャナルコート保育園）、藤野恭子さん（キャナルコート保育園園長）、矢田まゆみさん（横浜YMCA）、齊藤希世さん（教育・保育事業部統括）、中列右端が山口温子さん（保育園ねがい）、中列左端が森由美子さん（横浜YMCA）、中列左から2人目が織原信枝さん（横浜YMCA）



子どもたちが描いてくれた歓迎の絵を持って、フィラデルフィアYMCAのスタッフと、最前列右から松本数実さん（国際・総合教育事業部統括）、中谷綾さん（キャナルコート保育園）、藤野恭子さん（キャナルコート保育園園長）、矢田まゆみさん（横浜YMCA）、齊藤希世さん（教育・保育事業部統括）、中列右端が山口温子さん（保育園ねがい）、中列左端が森由美子さん（横浜YMCA）、中列左から2人目が織原信枝さん（横浜YMCA）



フィラデルフィアYMCAの保育室の様子

ヤルエモーションナルランニングでした。これは、社会性と情動の学びとして、自己理解力・他者理解力・対人関係構築力・意欲・対人関係構築力・意欲決定力を身につけることをねらいとしています。視察した保育施設は、子どもたちが自分の気持ちについて考える掲示物が壁に貼られていたり、一人で気持ちを落としていることは共通しています。しかし、文化や地域のニーズの違いにより、大切にしながら関わっています。東京YMCAも、YMCAsも、YMCAsの保育環境をさまざまに整えていきたいと思います。

YMCAsの一員であることを実感できるよう、多くの方にこの海外研修の機会が与えられたら嬉しいです。（保育園ねがい AD 山口温子）

私たちが自分の思いを伝えることを大切にしてい

る空気を肌で感じること

も印象的でした。日常の忙しさの中で忘れてしまった。視察中も、おもができたのは、他では得られない体験でした。こ

のことのやりがいについて改めて考える機会にもなりました。今回できたつながりを今後も大切にしました。東京YMCAの保育者が世界の保育を知り日々の保育をさらに豊かにし、東京YMCAの保育者が世界の保育を知り日々の保育をさらに豊かにしているよう、そして、自身が世界に連なるYMCAsの一員であることを実感できるよう、多くの方にこの海外研修の機会が与えられたら嬉しいです。（保育園ねがい AD 山口温子）

“いじめ”のない社会を目指して ピンクシャツデー

2月第4週の水曜日（2025年は2月26日）に、ピンク色のシャツや小物を身につけて「いじめ反対」を訴える「ピンクシャツデー」。この運動は、2007年に、カナダでピンク色のシャツを着た少年がゲイだといじめられたことに抗議し、皆でピンク色のシャツを着たことから始まりました。毎年、全国のYMCAがこの運動に取り組んでいます。

東京YMCAでは、2月26日前後に、ピンクに彩られたさまざまな場所で、子どもも大人も一緒にいじめや人権について考え、多様性への理解を深める取り組みを行いました。ハート型のカードやピンクシャツのキーホルダーなどのアイテムを使い、自分の体験を伝えたり、相手の気持ちを想像したりする活動を通して、いじめのない社会を実現するためにできること、すべきことを考える機会となりました。

また、今年も香港YMCAが参加し、香港でも「ピンクシャツデー」が展開されました。香港YMCAは、ピンクシャツデーを「子どもの間で“いじめ反対”の意識を高め、年齢・国籍・宗教・能力に関わらず、優しさ、団結、そして他者を支えることの重要性を強調する」機会と捉え、来年も参加する意欲を示しています。

東京YMCAの「ピンクシャツデー」の取り組みは、ホームページでご覧いただけます。（広報室）



にはんご学院、社会体育・保育専門学校



東陽町コミュニティーセンター



国際協力一斉街頭募金を実施 バングラデシュの子どもたちの教育支援のために

3月22日、JR新宿駅周辺で国際協力一斉街頭募金を実施し、約90人のボランティアとスタッフが参加。バングラデシュの子どもたちの教育を支援するための募金を呼びかけました。参加者からは、「来日中のトロントYMCAの元キャンプカウンセラーが偶然通りかかり、募金をしてくれた。世界のYMCAのつながりを感じた。」という感想もありました。

東京YMCAは1998年から、バングラデシュYMCAが運営する

「Non Formal Primary Education」（以下、NFPE）という私設の学校を支援しています。農村の貧しいコミュニティーにあり、小学校に通っていない主に6～8歳の子どもが、3年間で初步的な国語（ベンガル語）、算数、英語などを学ぶ学校です。NFPEの教師が生徒の親にも教育の重要性を伝え、動機づけをしていくことで、NFPEを卒業する子どものほとんどが、公立の小学校に編入して勉強を続けます。

街頭募金に先立つ2月14日に行われたバングラデシュYMCAとのオンラインによるスタッフミーティングでは、バングラデシュYMCA同盟のニブン・サングマ総主事からの報告がありました。2024年にバングラデシュYMCA同盟の結成50周年を祝う会に集まったNFPEの卒業生は、看護師になって病院で働いたり、企業に勤めたりして、教育が生かされていることを実感したそうです。NFPEの卒業生は優秀で大学に進学する人もおり、教育支援を続けている東京YMCAに改めて感謝が伝えられました。（広報室）



いんふおめーしょん INFORMATION インフォメーション

■早天祈祷会(5月) ■

会員有志が聖書について自分の考えなどを語る「奨励」の後、皆で祈り讃美歌を歌います。クリスチヤンでない方も気軽にどうぞ。

日 時：2025年5月7日（水）
7:00～8:00

奨励者：星野太郎氏（東京YMCA総主事）

会 場：オンライン／山手センター
問合せ：会員部（03-6278-9071）

●●● 会員のご案内 ●●●

「会員」とは、東京YMCAの主旨に賛同し、会費によって活動を支えて下さる方のことです。YMCAは、青少年の健全な成長をサポートし、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるために、より多くの会員と共に活動していくことを願っています。



詳細はこちら



ワイズコーナー

Y'S MEN'S CLUB

Vol.26

ワイズが目指すユースエンパワメント
②増え続ける不登校児

全国の不登校児（小中学校）は、34万人を超えるこの10年間増え続けています。何が不登校を増やしているのでしょうか？

現代は、間接体験で得る知識、娯楽やスリル感などは、スマホを通していつでも、いくらでもできる社会です。それと並行して、人と人の関係、人の想いや悲しみを感じる手段が欠如してきているのではないかでしょうか。

ワイズメンズクラブ国際協会では、Time of Fastと呼ばれる、一食を我慢してその分を献金し、困っている人たちへの支援活動に充てるという制度が世界中で行われています。そこで不登校児への取り組みをするプロジェクトを申請してみました。YMCAと共に考え、動き始める資金にしていきたいと考えています。不登校をテーマにミュージカルをはじめ、そのグループを応援するワイズメンズクラブが新しく誕生しました。YMCAのパートナーとして、環境、健康、教育という分野で何かできないかを考えています。一緒にやりませんか？（東日本区理事 山田公平）



「盛岡YMCAこども人権チーム」



動画でわかる
ワイズ
メンズクラブ

ミャンマー地震
緊急支援募金のお願い

2025年3月28日にミャンマーで発生した大地震は、甚大な被害をもたらしました。ミャンマーYMCAからの緊急支援要請を受け、日本のYMCAは緊急支援募金を実施しています。この募金は、ミャンマーYMCAが行う支援活動のために用いられます。

東京YMCAは、日頃からミャンマー・ネピドーYMCAの活動をサポートし、交流しています。皆様のご協力をお願いいたします。

【募金期間】2025年5月31日まで

【募金の送金先】

- ◆三井住友銀行 神田支店 普通 7631486
ザイ)トウキョウワイエムシイエイ
- ◆web募金はこちら（クレジットカード払い）



募金の詳細はこちら

【お問合せ】東京YMCA会員部（03-6278-9071）

東京YMCAメルマガ登録募集中

東京YMCAのプログラムやボランティアなどの情報を届けるメルマガです。月1～2回の不定期配信。ぜひご登録ください。



登録はこちら

会員大会のご案内

東京YMCAは会則に則り、年に一度の「会員大会」を開催します。東京YMCAをお支えくださる会員や支援者の皆さまへ一年間の活動を報告するほか、会員の表彰や交流などを行います。

どなたでもご参加いただけます。

日 時：2025年5月24日（土） 13:30～16:00

会 場：東京YMCA山手コミュニティーセンター

参加費：無料

申込締切：5月16日（金）

問合せ：会員部



詳細はこちら

文化スポーツ教室「わくわく梅シロップ作り」

わくわくビレッジでは、四季を通じてたくさんの花々が私たちの目を楽しませてくれます。その中でもっとも早く咲きはじめる花のひとつに梅があげられますが、今回はお花を楽しんだ後の実を収穫して、梅シロップ作りを行いたいと思います。

※果実瓶等その他材料は参加費に含まれます。

詳しくはお電話またはホームページにてご確認下さい

高尾の森わくわくビレッジ

042-652-0911

【開催日】 5月18日（日）

【時 間】 10:00～12:30

【対 象】 どなたでも

【定 員】 10組

【持ち物】 汚れても良い服装・マスク・タオル・軍手・三角巾

【費 用】 1組／1瓶 3,960円

【申込み】 お電話又はフロントにて



Takeonomori Wekuwaku Village

高尾の森わくわくビレッジはYMCAスタッフが運営しています